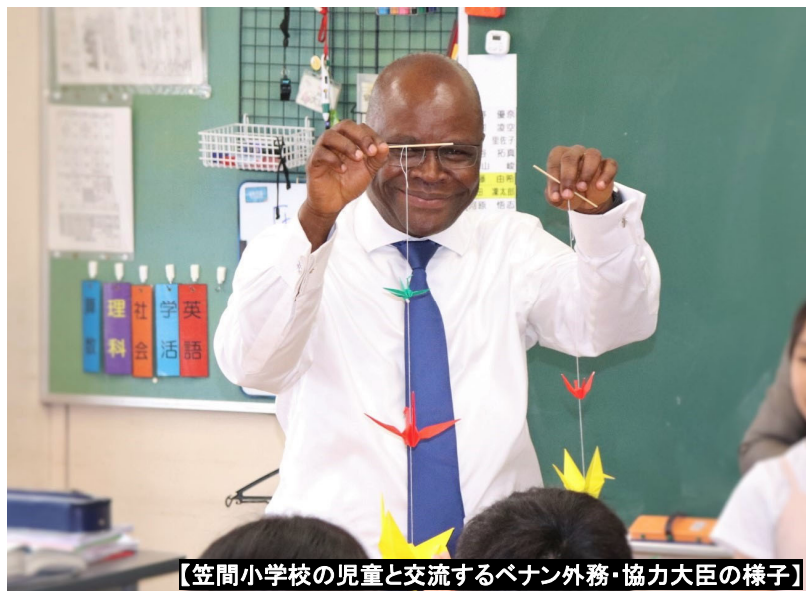


ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 7 月 20
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【笠間小学校の児童と交流するベナン外務・協力大臣の様子】

ベナン共和国の外務・協力大臣が 横浜を訪問しました

6月20日に、ベナン共和国よりオレリアン・アベノンシ外務・協力大臣が横浜市を訪問し、林市長と面会しました。また、松本議長及び佐藤議連会長、草間事務局長とも面会しました。



横浜市は平成25年にベナン・コトヌー市と共同声明を行い、若い世代の交流や港湾分野の技術協力に取り組んでいます。



その後、大臣は栄区の笠間小学校を訪問し、児童と交流しました。笠間小学校はコトヌー市にあるスルレ小学校と、交流しています。来年の第7回アフリカ開発会議横浜開催に向けた「アフリカの一校一國」でも、ベナンについて学習しています。



大臣は6年生の教室を訪問し、児童と交流しました。また、4～6年生の児童が参加した「迎える会」では、児童が歌や踊りを披露し、ベナンについて学んだ成果の発表がありました。

詳細はこちら（国際局 HP）：
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/exchange/benin-minister180620.html>

駐日マダガスカル共和国大使が 横浜を訪問しました

新たに着任されたミレイユ・ラザナマララ・ラクトゥマララ駐日マダガスカル共和国特命全権大使が6月8日に横浜市を訪問し、林市長と面会しました。



面会では、昨年12月にマダガスカル大統領夫人が横浜市の小学

校を訪問したことを契機に若い世代との交流を深めていくことをはじめ、都市課題の解決の取組や、横浜で来年開催される第7回アフリカ開発会議(TICAD7)に向けた「アフリカとの一校一國」事業等への協力について、意見交換が行われました。

駐 JICA ボランティアの新規派 遣者が市庁舎を訪問しました

JICA（（独）国際協力機構）では、開発途上地域の経済・社会の発展や復興に協力するため、1965年から海外ボランティアを派遣しています。毎年4回、約1,000名が世界各地に派遣され、横浜市内からも毎年約40名の方が派遣されています。



6月15日に2018年第一次新規派遣ボランティアの20名が渡辺副市長と面会を行いました。

これから世界各地に赴き、様々な分野にて尽力するボランティアの方々へ、渡辺副市長から激励のメッセージがありました。